

学生が考える「保育の音楽」とは ——アンケートから見えてくるもの——

What Do Students Think of “Music in Childcare”: From the Questionnaire of Junior College Student

井上 裕子
Hiroko Inoue

はじめに

保育の中で「音楽」は、それが保育の全てではないにしても、子どもたちが毎日の園生活の中で関わらないということはまずないものである。歌う、聴く、楽器を鳴らす、音楽に合わせて身体を動かすなどの活動によって、子どもが感性だけではなく、人間教育として大切な人格形成の三要素「心・力・性」をも自然に身につけられるのが音楽である。

リトミックの創始者であるスイスの作曲家・音楽教育家エミール・ジャック・ダルクローズ (Emile Jaques-Dalcroze, 1865～1950)¹⁾ は、音楽に反応して動くことで、感じる心や想像力、創造力などを育てる²⁾ 音楽教育だけではなく、「広い人間教育」を念頭に、こどもたちが成長するための“根”を育てていくことを目指し³⁾、リトミックを普及させた。リトミックは、人格形成の三要素「心・力・性」はバランスが大切であるとし、これらを子どもたちが音楽を手段として身につけられるように考えられた教育法である。

幼稚園教育要領においても、幼児期に育みたい資質・能力の「3つの柱」すなわち「知識及び技能の基礎」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「学びに向かう力、人間性等」は、どれかひとつが育てば良いのではなく、互いに働き掛けながら伸びていくものとしており、リトミックはこれに通じるものである。

このように大きな役割を担う音楽ではあるが、園での活動の中で一番よく使われるピアノが苦手な学生が多くなっていると感じる。確かにピアノを使う活動だけが音楽の活動ではないが、音楽の活動の中で一番多い歌う活動にしても、保育者自らの声だけで伝えるには難しいところがあり、音程が分かる楽器が必要となる。音程が分かる楽器はたくさんあるが、やはり身近で使いやすい楽器となるとピアノということになる。

技能というものは、言うまでもなく毎日の練習の継続でしか培われない。しかしながら学生には

毎日の練習や地道な努力という言葉は、なかなか響かないのが現状である。

そこで、保育者養成校の学生が保育の中の「音楽の活動」をどのように捉えているか実態を知るために、調査を行うことにした。

方法

調査の目的

保育を学んでいる学生が保育の中の「音楽の活動」をどのように捉えているかを知り、本調査の結果を今後の大学における「音楽」の指導の参考にする。

調査方法

調査票は『「音楽」に関するアンケート』という題でA4サイズの調査票(図1)を配布し、スクーリング期間中に回収した。質問内容は、保育者養成校では必ず学修するピアノを中心に作成した。

調査対象者

兵庫県内の短期大学通信教育部こども学科1年生のスクーリング授業「こどもの指導法「リズム表現」」の受講生を対象に、期間中に担当した4回のスクーリングの履修生104名に配布し、回答を得た。回答学生は95名(回収率91.3%)であった。年齢は10代が9名、20代が35名、30代が19名、40代が19名、50～60代が8名、年齢不詳が5名であった。

調査時期

2021年11月21日(31名)、2022年6月26日(19名)、7月29日(27名)、9月18日(18名)に実施した。

分析方法

問2・3は5段階で回答してもらい、問1から問4までの自由記述のところは、筆者が同趣旨の回答をまとめてグループ分けした結果を年齢別に表にした。また、問5の自由記述の分析には、テキストマイニングのためのフリーソフトウェアKH Coder3(樋口耕一氏開発)を利用した。

「音楽」に関するアンケート 井上裕子 2021年11月

(データは統計的に処理しますので、個人にご連絡が及ぶことはありません)

各設問に該当する数字を○で囲んでください。 男・女 ()歳

問1. 今回のスクーリングを受ける以前に

a) 「リズムック」という言葉を聞いたことがありますか。 1. ある 2. ない

1と回答の方に伺います。いつ頃どこで聞かれましたか。

[]

b) 「グルクローズ」という名前を聞いたことがありますか。 1. ある 2. ない

1と回答の方に伺います。いつ頃どこで聞かれましたか。

[]

問2. ピアノは好きですか。

その理由は何ですか。自由にお書きください。

好き・・・・・・・・・・ 1 []

やや好き・・・・・・・・ 2

どちらとも言えない・・ 3

やや嫌い・・・・・・・・ 4

嫌い・・・・・・・・・・ 5

問3. 保育士にとってピアノは必要だと思いますか。

その理由は何ですか。自由にお書きください。

必要である・・・・・・ 1 []

やや必要である・・・・ 2

どちらとも言えない・・ 3

やや必要でない・・・・ 4

必要でない・・・・・・ 5

問4. ご自身の幼稚園・保育園時代に、印象に残っている「音楽」又は「音楽の活動」はありますか。

1と回答の方は具体的にお書きください。

ある・・・・・・・・・・ 1 []

ない・・・・・・・・・・ 2

問5. あなたは「音楽」で子どもたち(乳幼児)に何を伝えたいですか。自由にお書きください。

[]

図1 調査票

結 果

「リトミック」という言葉の普及度は

表1 問1 a)「リトミック」という言葉を聞いたことがありますか

	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
ある	2	19	15	18	8	5	67 (70.5%)
ない	7	15	4	1	0	0	27 (28.4%)
無回答	0	1	0	0	0	0	1 (1.1%)
	9	35	19	19	8	5	95

表2 問1 a)「ある」の自由記述分類結果

項目	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
子育ての時	0	3	10	10	4	1	28 (41.8%)
職場	0	8	1	5	1	1	16 (23.9%)
テレビ・本・ホームページ	1	4	2	3	2	0	12 (17.9%)
授業(高校・大学)	1	3	1	0	0	1	6 (9.0%)
その他	0	1	1	0	1	0	3 (4.5%)
無回答	0	0	0	0	0	2	2 (3.0%)
	2	19	15	18	8	5	67

その他の回答：なんとなく覚えた(20代-1)・高校の時ピアノの先生から聞いた(30代-1)・
数十年前にリトミック室のチラシを見た(50・60代-1)

表1からは、「聞いたことがある」という学生が70.5%と7割を占めていた。7年前に他大学（保育の短期大学）で同じ質問を行った時が26.1%⁴⁾であったことを思うと、ここ数年で「リトミック」という言葉がいかに普及しているかが見て取れる。

表2からは、「子育ての時」が多く、子どもの習い事に対する親の関心の高さがうかがえる。

「ダルクローズ」という名前の普及度は

表3 問1 b)「ダルクローズ」という名前を聞いたことがありますか

	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
ある	0	1	0	0	0	0	1 (1.1%)
ない	9	34	19	19	8	5	94 (98.9%)
無回答	0	0	0	0	0	0	0 (0%)
	9	35	19	19	8	5	95

「ない」が98.9%で全体のほとんど全員で、唯一20代で1名「ある」と回答の学生の「いつ頃どこで」の問いの回答は、「先週の授業で聞いた」というものであった。

こちらも7年前に同じ質問を他大学（保育の短期大学）で行った時が99.1%⁵⁾であったが、「ダルクローズ」という名前はまだまだ浸透していないのが読みとれる。

ピアノは好きか

表4 問2 ピアノは好きですか

	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
好き	1	10	8	10	5	1	35 (36.8%)
やや好き	1	10	3	4	2	3	23 (24.2%)
どちらとも言えない	5	7	3	1	1	0	17 (17.9%)
やや嫌い	1	5	4	2	0	0	12 (12.6%)
嫌い	1	3	1	2	0	1	8 (8.4%)
無回答	0	0	0	0	0	0	0 (0%)
	9	35	19	19	8	5	95

保育者養成校ではピアノが苦手という学生は多いが、「好き」と「やや好き」を合わせると6割弱を占めているので、苦手ということとピアノの好き嫌いは必ずしも比例していないことが分かり、少し希望が持てる結果であった。

表5 問2 「好き」の自由記述分類結果

項目	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
弾けた時の達成感	1	0	2	1	2	1	7 (20.0%)
音色がきれい	0	0	2	4	0	0	6 (17.1%)
弾けると楽しい	0	3	1	1	1	0	6 (17.1%)
習っていたので	0	3	1	0	1	0	5 (14.3%)
音楽が好きなので	0	1	0	1	1	0	3 (8.6%)
表現することができるから	0	0	0	2	0	0	2 (5.7%)
その他	0	3	2	1	0	0	6 (17.1%)
無回答	0	0	0	0	0	0	0 (0.0%)
	1	10	8	10	5	1	35

その他の回答：弾けないけど楽しい(20代-2、40代-1)・ピアノを始められて嬉しかった(20代-1)・みんなが楽しい気持ちになれるから(30代-1)・ピアノの音を聞いていると落ち着く(30代-1)

表6 問2 「やや好き」の自由記述分類結果

項目	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
習っていたので	0	2	3	0	1	0	6 (26.1%)
上手く弾くことはできないが好き	1	3	0	0	0	0	4 (17.4%)
弾けると楽しい	0	3	0	1	0	0	4 (17.4%)
弾けた時の達成感	0	1	0	1	0	0	2 (8.7%)
表現することができるから	0	0	0	0	0	1	1 (4.3%)
その他	0	1	0	1	0	1	3 (13.0%)
無回答	0	0	0	1	1	1	3 (13.0%)
	1	10	3	4	2	3	23

その他の回答：知っている曲を弾いて自ら聞くことができるから(20代-1)・レッスンの曲を弾いている時は楽しい(40代-1)・自分の好きな曲を家で弾くのは好き(不詳-1)

「好き」と「やや好き」の自由記述には、「弾けると楽しい」「弾けた時の達成感」という項目が挙がっていた。練習は大変であるが、弾けた時の喜びを知っているので頑張れるという思いが読み取れる。

表7 問2 「どちらとも言えない」の自由記述分類結果

項目	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
難しい	0	3	2	0	0	0	5 (29.4%)
ピアノをやったことがないから	1	1	0	1	1	0	4 (23.5%)
弾けるようになりたい	1	1	0	0	0	0	2 (11.8%)
弾けないが聞くことは好き	1	0	0	0	0	0	1 (5.9%)
その他	2	1	1	0	0	0	4 (23.5%)
無回答	0	1	0	0	0	0	1 (5.9%)
	5	7	3	1	1	0	17

その他の回答：今とはとにかく頑張ることしか頭にない(10代-1)・聞いている時はすごいと感じる(10代-1)・テストや発表が好きではない(20代-1)・表現が楽しい(30代-1)

表8 問2 「やや嫌い」の自由記述分類結果

項目	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
指が動かない	0	2	2	1	0	0	5 (41.7%)
難しい	0	1	2	0	0	0	3 (25.0%)
小さい頃やめた	0	2	0	0	0	0	2 (16.7%)
苦手	1	0	0	0	0	0	1 (8.3%)
その他	0	0	0	1	0	0	1 (8.3%)
無回答	0	0	0	0	0	0	0 (0.0%)
	1	5	4	2	0	0	12

その他の回答：幼い頃習っていたピアノ教室の先生が間違えると怒ったのでその記憶がある(40代-1)

表9 問2 「嫌い」の自由記述分類結果

項目	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
習ったことがないから	0	3	0	0	0	0	3 (37.5%)
難しい	0	0	1	1	0	1	3 (37.5%)
その他	0	0	0	1	0	0	1 (12.5%)
無回答	1	0	0	0	0	0	1 (12.5%)
	1	3	1	2	0	1	8

その他の回答：小さい時間遅えると先生に手を叩かれたから(40代-1)

表7、表8、表9には共通して、「難しい」という回答があった。

保育士にとってピアノは必要か

表10 問3 保育士にとってピアノは必要だと思いますか

	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
必要である	3	12	8	13	5	1	42(44.2%)
やや必要である	3	16	7	3	3	4	36(37.9%)
どちらとも言えない	3	6	3	3	0	0	15(15.8%)
やや必要でない	0	0	0	0	0	0	0(0.0%)
必要でない	0	1	1	0	0	0	2(2.1%)
	9	35	19	19	8	5	95

「必要である」と「やや必要である」を合わせると8割弱を占める結果であった。

表11 問3 「必要」の自由記述分類結果

項目	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
子どもの活動に使いやすい	0	3	0	2	1	0	6(14.3%)
子どもたちが歌いやすい	1	3	0	1	0	0	5(11.9%)
子どもへの影響が大きい	0	2	2	0	0	1	5(11.9%)
子どもたちにニュアンスが教えやすい	1	0	0	2	1	0	4(9.5%)
音楽の楽しさを知ってもらえる	0	0	1	2	1	0	4(9.5%)
子どもが喜ぶ	0	0	3	1	0	0	4(9.5%)
ピアノでしか感じられないものがある	0	0	0	2	1	0	3(7.1%)
その他	0	3	0	2	1	0	6(14.3%)
無回答	1	1	2	1	0	0	5(11.9%)
	3	12	8	13	5	1	42

その他の回答：子どもの成長には大切(20代-1)・ピアノの音で大人になってからもその時
のことが思い出せる(20代-1)・ピアノが弾けた方が音楽の自由度が上がる
(20代-1)・保育士さんはピアノのイメージが強い(40代-1)・楽器への興味
につながる(40代-1)・子どもと先生をつなぐ役割がある(50・60代-1)

表12 問3 「やや必要」の自由記述分類結果

項目	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
子どもの活動に使いやすい	1	5	1	0	0	0	7(19.4%)
音楽の楽しさを知ってもらえる	0	2	3	1	0	1	7(19.4%)
子どもたちが歌いやすい	1	0	2	0	1	1	5(13.9%)
ピアノでしか感じられないものがある	1	3	0	0	0	0	4(11.1%)
子どもたちにニュアンスが教えやすい	0	2	0	1	0	0	3(8.3%)
他のモノ(タブレット・楽器など)で代用できる	0	1	1	0	1	0	3(8.3%)
子どもへの影響が大きい	0	2	0	0	0	0	2(5.6%)
その他	0	1	0	0	0	0	1(2.8%)
無回答	0	0	0	1	1	2	4(11.1%)
	3	16	7	3	3	4	36

その他の回答：小学校に向けて必要(20代-1)

表13 問3 「どちらとも言えない」の自由記述分類結果

項目	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
テープ・CDで流したら良い	1	2	0	1	0	0	4 (26.7%)
他の楽器で代用	2	1	0	1	0	0	4 (26.7%)
その他	0	2	2	1	0	0	5 (33.3%)
無回答	0	1	1	0	0	0	2 (13.3%)
	3	6	3	3	0	0	15

その他の回答：音楽が保育のすべてではないから音楽的感情を身につける手段は沢山ある(20代-1)・他の何かでカバーすれば良い(20代-1)・ピアノが特技の先生に任せた方が良い(30代-1)・自分の得手不得手に合わせて工夫すれば良い(30代-1)・ピアノに気を取られて声掛けがおろそかになる(40代-1)

「保育士にとってピアノは必要ではない」の回答は2人(2.1%)で自由記述は、「スマホかCDで良い」(20代-1人)、「ピアノが絶対的に必要となっていることに違和感を感じる」(30代-1人)であった。

幼稚園・保育園時代に、印象に残っている「音楽」又は「音楽の活動」は

表14 問4 幼稚園・保育園時代に、印象に残っている「音楽」又は「音楽の活動」はありますか

	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
ある	6	20	10	11	4	3	54 (56.8%)
ない	3	14	9	8	4	2	40 (42.1%)
無回答	0	1	0	0	0	0	1 (1.1%)
	9	35	19	19	8	5	95

表15 問4 「ある」の自由記述分類結果

項目	10代	20代	30代	40代	50・60代	不詳	合計(%)
行事(合奏・合唱)	2	8	4	3	1	1	19 (35.1%)
歌を歌った	3	4	5	3	2	0	17 (31.5%)
マーチング	0	4	1	1	0	1	7 (13.0%)
その他	0	3	0	3	1	1	8 (14.8%)
無回答	1	1	0	1	0	0	3 (5.6%)
	6	20	10	11	4	3	54

その他の回答：ダンス(20代-2、50・60代-1、不詳-1)・劇団の人がきて劇中に出てきた楽器を使わせてもらった(20代-1)・母親たちがしてくれた人形劇(40代-1)・ピアノを習っていた(40代-1)・オカリナと拾ってきた木の実で音を出して合奏(40代-1)

自由記述では「行事(合奏・合唱)」と「歌を歌った」が上位で、挙がっていた曲目を年齢別に挙げると、10代「BELIEVE」、20代「ヤッホッホ!夏休み」「どんぐりころころ」「団子3兄弟」「大きな古時計」「小さな世界」「ともだちになるために」「十二支のうた」「にじ」、30代「あぶくたった」「とんちんかんちん一休さん」「きらきら星(英語)」、40代「おべんとうばこのうた」「ねこふんじゃった」であった。これら以外には讃美歌も挙げられていた。

「音楽」で子どもたち（乳幼児）に伝えたいことは

問5に対しては86名から回答があった。次に示す図2は、テキストマイニングで自由形式で記述された文章を単語に分割し、出現頻度や相互関係を示した図である。

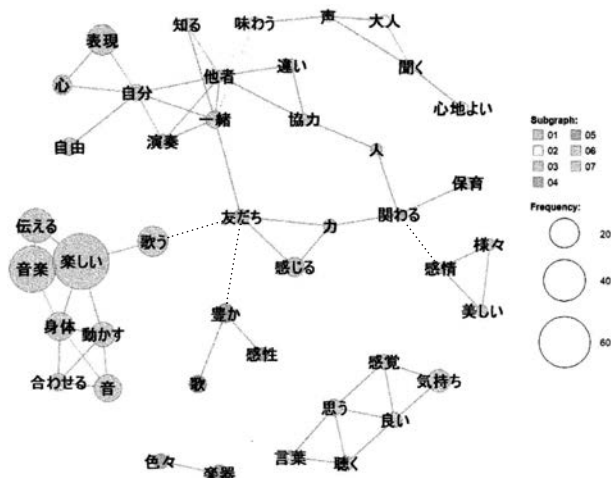


図2 「音楽」で子どもたちに伝えたいことは

回答の代表的なものを示すと、「音楽の楽しさ」(19名)「身体で表現する楽しさ」(18名)「歌うことの楽しさ」(15名)であった。その他少数回答では、「型にはまらず自由に楽しむ」「自らを表現する手立てであり、心のよりどころにもなり得る」「音楽で通じ合うコミュニケーションで人間の表現を理解してもらおう」「皆で一つのことを共有し、完成させる楽しさ」「音楽は言葉にならない気持ちを代弁してくれる」「身近にいる大人の声を知りたいです。その方が子どもの心に届きます」「理解できる範囲内で、前向きなメッセージを伝えたい」「時の流れや季節、日本の四季の良さがあること」「心を音楽で表現する」というものであった。

考 察

今回のアンケートで、学生が保育の中の「音楽の活動」をどのように捉えているのか見えてきたことは、表5・表6からはピアノの良い面を感じていることが、そして表10・表11・表12からは、保育士にとってのピアノの必要性も理解されていることが分かった。一方で、表13の「その他の回答」の内容からは、発展的な考え方も出ており、時代の流れを感じた。また、表8・表9の「その他の回答」の内容から、子どもの頃の負の経験が精神的に大きく影響し、ピアノを嫌いにさせることがあるということを再認識した。また、図2に現れた単語は、感性と表現に関する領域「表現」やダルクローズが「リトミック」という手法によって子どもたちに身に付けて欲しいと願ったものばかりで、学生が自身の子どもの時代の経験や学びからそれらを自然に感じ、理解していることが分かった。また、「楽しい」ということが一番大切であるということも、この図から確認できる。

年代別でみると、表4「ピアノは好きですか」では、好き・やや好きを合わせた割合が10代は22.2%、20代は57.1%、30代は57.9%、40代は73.7%、50・60代は87.5%と年代が上がるごとに上がり、ピアノへの思い入れの違いが読み取れる。

おわりに

常々学生には「子どもたちには、小さな達成感をたくさん経験させてあげてください」と話しているが、それは子どもであろうと大人であろうと同じである。ピアノが弾けることに越したことはないが、ピアノを苦手とする学生が多いと感じられる中で、指導する側が考えなければならないことは、保育の中での「音楽の活動」で一番大切なことは何なのか、ということである。「音楽」は音が楽しいと書くが、やはり「楽しい」と感じられるように伝えることが大事であり、それは子どもに対しても保育者養成校の学生に対しても同じである。「楽しい」と感じる中で小さな達成感をたくさん経験することで、あらゆることへの学びが、前進していくと考えられるからである。

今回の調査は、指導する側の考え方をもっと柔軟にしていかなければならないということを確認するアンケートとなった。

最後になりましたが、本調査のアンケートにご協力いただいた学生の皆様に感謝いたします。

引用文献

- 1) Emile Jaques-Dalcroze. (2011). 音楽と人間 (河口道朗, 訳). (iii). : 開成出版.
- 2) 岩崎光弘・千葉和恵. (2002). こどもがグングン伸びる「音楽あそび」. (p.74). : PHP 研究所.
- 3) 前掲書 (p.74)
- 4) 井上裕子. (2016). 「リトミック」はどのように捉えられているのか－学生のアンケートから見えてくるもの－. (p.100). : 大阪城南女子短期大学研究紀要
- 5) 前掲書 (p.100)

参考文献

- ・樋口耕一・中村康則・周 景龍著. (2022). 動かして学ぶ！はじめてのテキストマイニング. : ナカニシヤ出版.
- ・文部科学省. (2018). 幼稚園教育要領解説 平成30年3月. : フレーベル館.

